

令和3年度

事業報告書

令和3年4月1日から

令和4年3月31日まで

一般財団法人 東京都営交通協力会

令和4年6月

# 目 次

1	はじめに .....	1
2	令和3年度事業報告 .....	4
	I 実施事業等会計 .....	4
	1 交通道德の普及や事故防止に関する事業 .....	4
	2 乗客サービスの増進に関する事業 .....	5
	3 運輸事業の調査研究に関する事業 .....	5
	4 運輸事業等の振興に資する他団体への助成に関する事業 .....	5
	II その他会計 .....	6
	1 受託事業	
	(1) 駅業務 .....	6
	(2) 定期券等発売業務 .....	7
	(3) 駅舎・車両等清掃業務 .....	8
	(4) 交通誘導警備業務 .....	8
	(5) 広告掲出・媒体管理業務 .....	9
	(6) 食堂業務 .....	9
	2 収益事業	
	(1) 売店・自販機事業 .....	10
	(2) 専門店舗等事業 .....	11
	(3) 直営店舗等事業 .....	12
	(4) 高架下等賃貸事業 .....	12
	(5) 駐車場事業 .....	13
	(6) インドアテニス事業 .....	14
	(7) 広告販売事業 .....	14
	(8) 宝くじ販売事業 .....	15
	3 共益事業	
	会報発行等事業 .....	15
3	庶務事項 .....	16
4	在籍人員 .....	19
	「事業報告の付属明細書」について .....	20

# 1. はじめに

## (当会を取り巻く事業環境)

5月半ばに内閣府が発表した令和4年1～3月期の国内総生産（GDP）の速報値は、物価変動の影響を除いた実質値で、前期比0.2%減、年率換算で1.0%減と2四半期ぶりのマイナス成長となりました。

内容を見ますと、内需の柱の一つである個人消費では、オミクロン株の感染拡大により、まん延防止等重点措置が適用され、飲食店の営業が制限されたことなどにより個人消費が伸び悩み、前期と比べほぼ横ばいとなりました。また、もう一つの柱である設備投資は、研究開発向けの投資が好調だったことなどにより0.5%のプラスとなったほか、政府消費では、ワクチンの購入や接種にかかる費用などにより0.6%の増となりました。

これにより、令和3年度の第1四半期からの年次の実質GDP成長率では、前年度比2.1%増と3年ぶりのプラス成長となりました。

こうした中、長期金利の指標となる10年物の国債の利回りは、年度当初の0.122%から年度末には0.218%で終わるなど、依然として低金利で推移していますが、日銀は、金利目標の上限が0.25%に近づいたことを受け、公開市場操作（指値オペ）を2月と3月に実施するなど、金融市場調整方針の維持を明らかにしています。

引き続き、日銀の動きや債券市場の動向とともに、不安定化する世界経済情勢についても、注視していく必要があると考えています。

## (プラン19における令和3年度の実績)

次に、当会の経営計画「プラン19」に基づく取組ですが、計画の最終年度である令和3年度は、引き続き、都営交通事業の一翼を担う法人として、当会を取り巻く事業環境や各事業の現状と課題等を踏まえつつ、「安全・安心の確保」、「良質で快適なサービスの提供」、「経営基盤の強化」の3つを事業運営の柱として、「協力会ならではの」取組の充実強化を図るとともに、適切な進行管理を行い、計画に掲げた目標を概ね達成いたしました。

主な取組としては、「安全・安心の確保」では、都営三田線のホームドア改修に伴うホーム監視業務を引き続き実施したほか、バス誘導警備業務における警備業法に定める有資格者の確実な確保に努めました。

「良質で快適なサービスの提供」では、定期券発売所にタブレット端末を配置しサービスの向上に努めたほか、高架下耐震補強工事後のテナント施設をオープンし、利便性の向上を図りました。

「経営基盤の強化」では、若手の定着率向上等を図るため、契約職員の処遇を改善いたしました。また、効率的な事業運営のため、不採算の売店を廃止するとともに、直営であった船堀コンビニ店を委託店舗として開店し、収支の改善に努めました。

今後は、新たに策定した経営計画「プラン22」に基づき、適切な進行管理と課題解決に努め、計画に掲げた事業及び取組目標の達成に向け、会を挙げて取り組んでまいります。

### （令和3年度決算の概要）

当会の会計は、平成20年会計基準を採用し、「一般正味財産増減の部」と「指定正味財産増減の部」に区分しています。このうち一般正味財産増減の部は、「実施事業等会計」、「その他会計」及び「法人会計」の3つの区分で経理しています。

まず、一般正味財産増減の部のうち、公益目的支出計画に基づく事業を経理する「実施事業等会計」では、都営交通事業を積極的に支援し、協力することを目的として事業を推進するべく、1億5,700万円余を支出しました。前年度に比べ7,000万円余減少しています。

次に、受託、収益及び共益の各事業を経理する「その他会計」についてです。

受託事業の駅業務では、契約単価の増加に伴い収入増となりました。定期券等発売業務では、契約単価の増加に伴い収入増となりました。駅舎・車両等清掃業務では、地下鉄車両清掃の業務量減及び駅壁面清掃の作業面積減に伴い収入減となりました。交通誘導警備業務では、契約時間減に伴い収入減となりました。広告掲出・媒体管理業務では、電飾広告看板の作業立会業務減に伴い収入減となりました。食堂業務では、

食堂の休業に伴い収入減となりました。

次に、収益事業の売店・自販機事業では、不採算売店を閉店したことなどにより収入、支出ともに減少となりました。専門店舗等事業でも、専門店舗の撤退などにより、収入、支出ともに減少となりました。直営店舗等事業は、令和2年度をもって、すべての直営店舗の委託化が完了となりました。高架下等賃貸事業では、耐震補強工事後のテナント施設の再築に伴い、収入、支出ともに増加となりました。駐車場事業では、時間貸し駐車場の開設に伴い収入、支出ともに増加となりました。インドアテニス事業では、営業再開に伴い収入、支出ともに増加となりました。広告販売事業では、廃業した広告代理店の広告媒体を引き継いだことなどにより、収入、支出ともに増加となりました。宝くじ販売事業は、令和2年12月に事業を終了しました。

これらの結果、受託事業と収益事業に会報発行等事業を経理する共益事業を加えた「その他会計」全体の収支は、前年度比4,100万円余減の4億8,900万円余の黒字となりました。

また、この「その他会計」に「実施事業等会計」と基本財産等運用収入や一般管理費を経理する「法人会計」を合算した「当期経常増減額」は、4億200万円余の黒字となりました。

これに過年度修正等の経常外収益3,500万円余、耐震補強工事等に伴う固定資産除却損などによる経常外費用7,500万円余を加減算した「税引前当期一般正味財産増減額」は、3億6,200万円余の黒字となりました。

この結果、これから法人税等を控除し、税効果会計による法人税等調整額を加えた「当期一般正味財産増減額」は、2億1,400万円余の黒字となりました。

また、平成27年度から、耐震補強工事に伴う撤去施設の再築のために受領した補償金を「指定正味財産」として経理しており、「当期指定正味財産増減額」は、700万円余の黒字となりました。

当会は、今後とも都営交通事業を積極的に支援し協力していくとともに、交通局が推進するグループ経営の一員として、全職員が一丸となって、都営交通事業の一翼を担い、お客様の期待と信頼に応えながら、その使命を着実に果たしてまいります。

## 2. 令和3年度事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

### I 実施事業等会計

(事業費 157,210 千円)

実施事業等会計では、公益目的支出計画に基づき交通道德の実践・普及及び事故防止、乗客サービスの増進などに関する事業を実施し、都営交通事業の使命達成のため、積極的に取り組みました。

#### 1. 交通道德の普及や事故防止に関する事業

(48,169 千円)

- (1) 地下鉄・バス・都電の車内及び地下鉄駅構内、公共道路内でのマナーの普及・向上を図るため、ポスターや小学生用マナー読本の作成などを行いました。
  - ・都営バスラッピングによる交通マナーの啓発
  - ・交通マナーポスター「駆け込み防止」等(17,750枚)及び交通マナー動画(5回)の作成
  - ・小学生用マナー読本「楽しく乗ろう!都営交通」(135,000部)の作成
  - ・公共交通マナー等絵画コンクールの実施
- (2) 交通道德、交通安全標語入りグッズ等を作成しました。
  - ・交通安全標語入り「カレンダー・タオル」(19,848本)の作成
  - ・バス車内事故防止床ばりステッカー(564枚)の作成
  - ・交通安全標語入り「オリジナル学習帳」(10,000部)の作成
- (3) 高齢者等の事故防止のため、自動車営業所における交通安全教室の支援を行いました。(5回)

## 2. 乗客サービスの増進に関する事業

(102, 218 千円)

- (1) 新型コロナウイルス感染防止徹底宣言付車内抗菌ステッカーを作成しました。
- (2) 沿線地域の活性化に寄与するため、都電荒川線サポーター(荒川バラの会等)に対する支援を行いました。
- (3) 都電沿線情報マガジン「さくらたび。」(56,000部×4回)を作成しました。
- (4) 都民の福祉向上に資するため、地下鉄各駅の構内立体図にバリアフリー施設の概要を記載した冊子「都営地下鉄バリアフリーガイド」(日本語版28,000部、英語版9,000部)を作成しました。
- (5) 環境対策、安全対策、お客様の利便向上に資する事業などに助成しました。
  - ・バス路線PR冊子「都バス乗り隊歩き隊」(70,000部×3回)の作成
  - ・都営交通環境取組PR広報物の作成
  - ・公共交通利用促進グッズの作成
  - ・バス車内映像「みんくるクッキング」等の制作

## 3. 運輸事業の調査研究に関する事業

(3, 717 千円)

新交通事業に関する調査

## 4. 運輸事業等の振興に資する他団体への助成に関する事業

(3, 106 千円)

運輸事業等の振興に資するため、公益法人等3団体に助成しました。

- ・日本赤十字社、交通遺児等育成基金、東京善意銀行

## Ⅱ その他会計（受託・収益・共益事業）

（事業収入 10,159,999 千円）

### 1. 受託事業

（7,338,860 千円）

受託事業では、交通局から委託を受けた地下鉄駅業務、駅舎・地下鉄及び新交通車両やバス車両の清掃業務などの実施により、都営交通の発展に寄与するとともに、お客様が安全・安心、快適に都営交通を利用していただけるよう着実な業務遂行を図りました。

#### （1） 駅業務

（4,152,568 千円）

地下鉄については窓口業務やお客様案内、ホーム監視などを、日暮里・舎人ライナーについては窓口業務、お客様案内に関する業務を行っています。執行体制の充実強化や人材の育成を図り、確実かつ効率的な事業運営に努めました。令和3年度の駅業務の受託駅数は前年度と変わらず60駅でした。

#### 【受託駅】

浅草線	12 駅	馬込、中延、戸越、高輪台、三田、大門、東銀座、宝町、人形町、東日本橋、蔵前、本所吾妻橋
三田線	13 駅	内幸町、水道橋、春日、白山、千石、西巢鴨、板橋区役所前、板橋本町、志村坂上、志村三丁目、蓮根、西台、新高島平
新宿線	11 駅	新宿三丁目、曙橋、小川町、浜町、森下、菊川、西大島、東大島、船堀、一之江、篠崎
大江戸線	23 駅	東新宿、若松河田、牛込柳町、牛込神楽坂、飯田橋、本郷三丁目、蔵前、両国、森下、月島、勝どき、築地市場、赤羽橋、麻布十番、代々木、西新宿五丁目、中野坂上、東中野、中井、落合南長崎、新江古田、豊島園、練馬春日町
日暮里・舎人ライナー	1 駅	西日暮里
（計）	60 駅	



(2) 定期券等発売業務

(514,216千円)

定期券・回数券・IC（パスモ）等乗車券類の発売・払戻し、シルバーパス等福祉乗車券の取扱いのほか、案内業務、グッズ販売を行っています。

令和3年度、地下鉄・新交通定期券発売所では、2か所の閉鎖（市ヶ谷・日本橋）や自動定期発売機の利用増の影響により、前年度より取扱額は減少しました。また、都バス・都電定期券発売所では、定期券や一日券など取扱額は前年度よりも増加し、払戻しは減少しました。

各定発所においては、厳しい事業環境の中、お客様ニーズを捉えた良質で快適なサービスの提供に努めました。

① 地下鉄・新交通定期券発売所 16か所

(令和3年度閉鎖定発所 5/31市ヶ谷・12/29日本橋)

【券種別取扱額】

(単位：千円)

券種	令和3年度	令和2年度	増減	率(%)
定期券	5,160,176	5,813,984	△653,808	△11.2
回数券	5,462	8,164	△2,702	△33.1
一日乗車券	12,487	10,021	2,466	24.6
払戻し	950,727	2,051,641	△1,100,914	△53.7
シルバーパス	69,328	64,167	5,161	8.0
シルバーパス払戻し	3,388	3,410	△22	△0.6
精神乗車証	18,128	15,869	2,259	14.2
合計	6,219,696	7,967,256	△1,747,560	△22.0

② 都バス・都電定期券発売所 13か所(三ノ輪橋おもいで館含む)

【券種別取扱額】

(単位：千円)

券種	令和3年度	令和2年度	増減	率(%)
定期券	1,757,138	1,633,946	123,192	7.5
都電回数券	4,676	3,532	1,144	32.4
一日乗車券	8,329	6,373	1,956	30.7
払戻し	62,157	77,478	△15,321	△19.8
シルバーパス	45,271	42,699	2,572	6.0
シルバーパス払戻し	2,583	2,517	66	2.6
精神乗車証	1,709	1,979	△270	△13.6
都営グッズ	931	783	148	18.9
合計	1,882,794	1,769,307	113,487	6.4

(3) 駅舎・車両等清掃業務

(1,943,949千円)

地下鉄・新交通の駅舎清掃及び地下鉄・バス等の車両清掃を行っています。令和3年度も前年度に引き続き、部内研修の充実化を図り、清掃機器の更新等を行うことにより、現場力の強化、駅構内及び車両の美化推進に努めました。

作業実績は、次のとおりです。

① 駅舎清掃

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	率 (%)
地下鉄駅舎	101 駅	101 駅	0 駅	—
新交通駅施設	13 駅	13 駅	0 駅	—
駅壁面	33 駅	41 駅	△8 駅	△19.5

② 車両等清掃

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	率 (%)
地下鉄車両	317,489 両	312,130 両	5,359 両	1.7
乗合バス車両	196,114 両	195,141 両	973 両	0.5
貸切バス車両	367 両	127 両	240 両	189.0
都電車両	11,014 両	11,285 両	△271 両	△2.4
新交通車両	2,205 両	4,110 両	△1,905 両	△46.4
庁舎	2 か所	2 か所	0 か所	—

※車両数は延べ

(4) 交通誘導警備業務

(336,044千円)

バスターミナルやバス操車所出入口等において、運行業務の補助、都バスの適切な誘導、都バス・一般車両及び乗客・通行人等の安全確認、乗客・通行人等への都バス及び周辺の案内等を行っています。警備業法に基づく教育・指導計画を定めて実施するなど、引き続きコンプライアンスを確保するとともに、安全・確実な業務の実施、案内サービスの向上を図りました。

令和3年度の収入は、大井競馬場の作業時間短縮の影響を受け、前年度よりも減少しました。

- ・ 主要バスターミナル、バス操車所出入口等…………… 17 か所

(5) 広告掲出・媒体管理業務

(352,465 千円)

都営交通の広告媒体の管理及び広告の掲出作業を行っています。掲出不備を防止するために、現場作業員の実務研修を行うなど、確実かつ効率的な掲出に努めました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響などに伴う広告需要減少により、広告掲出枚数の減少が続いています。

作業所数及び作業実績は、次のとおりです。

- ・地下鉄広告作業 …………… 5 か所
- ・都バス広告作業 …………… 19 か所
- ・都電広告作業 …………… 1 か所
- ・新交通広告作業 …………… 1 か所
- ・広告媒体管理業務

【広告作業実績】

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	率(%)
地下鉄広告掲出	443,935 枚	511,676 枚	△67,741 枚	△13.2
都バス広告掲出	149,387 枚	148,470 枚	917 枚	0.6
都電広告掲出	2,392 枚	3,076 枚	△684 枚	△22.2
新交通広告掲出	1,355 枚	1,632 枚	△277 枚	△17.0

(6) 食堂業務

(39,618 千円)

バス営業所、地下鉄車両基地などで食堂業務を行っています。賄い人への巡回指導などにより食中毒防止や防火管理の徹底を図り、喫食数増加に努めました。令和3年度は食堂の休業などにより、前年度に比べ減収となりました。

区 分	令和3年度	令和2年度
食堂	23 か所	23 か所
(うち、年度末休止)	3 か所	2 か所

## 2. 収益事業

(2, 820, 891 千円)

収益事業では、地下鉄駅構内のメルシー売店の営業、専門店舗等への施設貸付、高架下等の遊休土地を有効活用した施設貸付、駐車場貸付などを実施しています。お客様に安心・快適に利用していただけるよう着実な業務遂行を進めるとともに、増収対策や効率化の推進に積極的に取り組み、利益の確保に努めました。

### (1) 売店・自販機事業

(843, 144 千円)

#### ① 駅売店

地下鉄駅構内での乗客サービスを図るため、「メルシー売店」として新聞、雑誌、たばこ、菓子、雑貨などの販売を行っています。スマートフォンやタブレット端末などの普及による新聞・雑誌の購買者離れや喫煙人口の減少などの影響を受けるなか、地域特性にあった商品陳列など収支改善に努めました。令和3年度には、4売店を閉店しました。

売店数及び売上実績は、次のとおりです。

・メルシー売店 …………… 10 売店 (前年度比 △3)

※令和4年3月に閉店の4売店を含む

#### 【売店売上実績】

(単位：千円)

種別	令和3年度	令和2年度	増減	率(%)
新聞	13,933	28,433	△14,500	△51.0
雑誌	14,482	28,961	△14,479	△50.0
煙草	94,155	183,582	△89,427	△48.7
菓子	26,162	40,351	△14,189	△35.2
飲料	15,067	25,595	△10,528	△41.1
雑貨	2,915	5,334	△2,419	△45.4
テレフォンカード	2	3	△1	△33.3
合計	166,716	312,259	△145,543	△46.6

② 飲料等自販機

地下鉄駅構内、バス営業所敷地内などに飲料等自販機を設置しています。

- ・ 飲料等自販機等 …… 956 台 (前年度比 +3)
- ・ オートメルシー …… 26 か所 (前年度比 △2)

【売上実績】

(単位：千円)

種 別	令和 3 年度	令和 2 年度	増 減	率 (%)
飲料等自販機	616,904	564,336	52,568	9.3
オートメルシー	59,485	58,889	596	1.0
合 計	676,389	623,225	53,164	8.5

(2) 専門店舗等事業

(466,961 千円)

「エキナカ」空間を利用して、飲食店、パン販売店、コンビニエンスストアなどを専門業者に委託して出店しているほか、週単位・月単位で出店業者を替える催事事業及びコインロッカー・A T M等のサービス機器の設置に伴う貸付を行っています。令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による専門店舗の撤退などのため、減収となりました。

専門店舗数及び売上実績は、次のとおりです。

- ・ コンビニエンスストア …… 7 店舗 (前年度比 △1)
- ・ 飲食・物販・サービス店舗 …… 28 店舗 (前年度比 △2)
- ・ 催事店舗 …… 12 か所 (前年度比 +3)
- ・ A T M …… 129 台 (前年度比 +2)
- ・ コインロッカー (宅配便含) …… 155 か所 (前年度比 +3)
- ・ 自動証明写真機 …… 89 台 (前年度比 +1)
- ・ 公衆電話 …… 135 台 (前年度比 △1)

**【構内店舗等売上実績】**

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	率 (%)
コンビニエンスストア	41,652	(84,823)	△43,171	△50.9
飲食・物販・サービス店舗	210,276	(230,765)	△20,489	△8.9
催事店舗	28,170	23,244	4,926	21.2
ATM	77,302	84,730	△7,428	△8.8
コインロッカー(宅配便含)	48,475	36,708	11,767	32.1
自動証明写真機	45,355	44,645	710	1.6
公衆電話	164	164	0	0
その他サービス機器	1,911	0	1,911	—
合 計	453,305	505,079	△51,774	△10.3

※前年度の()内は事業区分の見直しに伴う組替え後の数字を表記

**(3) 直営店舗等事業**

船堀コンビニエンスストアは委託店舗化に伴い、令和3年3月をもって閉店しました。

**【直営店舗売上】**

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	率 (%)
船堀コンビニエンスストア	0	317,609	△317,609	△100.0

**(4) 高架下等賃貸事業**

(782,583千円)

交通局資産の有効活用の一環として、遊休土地を活用し、都営地下鉄の高架下用地などに設置した店舗等の貸付を行っています。

令和3年度から、直営店舗等事業のうち、交通局施設内の委託店舗を本事業に統合しました。

令和3年度は、三田線等高架下耐震補強工事後の施設物再築によるテナントの貸付額が増加したことにより、収入は前年度を上回りました。

店舗等の貸付箇所数は、次のとおりです。

## ① 高架下等テナント

(単位：千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		増 減	
	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数
浅草線	33,888	9件	31,328	10件	2,560	△1件
三田線	512,017	159件	504,543	144件	7,474	15件
新宿線	102,118	36件	82,643	33件	19,475	3件
大江戸線	22,200	1件	24,000	1件	△1,800	0件
合 計	670,223	205件	642,514	188件	27,709	17件

## ② 委託店舗

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	率 (%)
船堀コンビニ、船堀パン店、船堀そば店	61,151	(35,403)	25,748	72.7

※前年度の()内は事業区分の見直しに伴う組替え後の数字を表記

## (5) 駐車場事業

(170,989千円)

都営地下鉄の高架下の土地やその他交通局の遊休地を活用し、駐車場の貸付を行っています。

令和3年度は、一般駐車場の収入において、新規時間貸駐車場の開設により、前年度を上回りました。

駐車場の貸付箇所数は、次のとおりです。

## 【収入実績】

(単位：千円)

区 分	令和3年度		令和2年度		増 減	
	金額	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数
高架下駐車場	41,169	11か所	41,020	10か所	149	1か所
一般駐車場	129,820	42か所	128,252	41か所	1,568	1か所
合 計	170,989	53か所	169,272	51か所	1,717	2か所

(6) インドアテニス事業

(205,788千円)

交通局用地を活用してインドアテニスコートを運営しています。テニススクールの営業等は専門業者に委託しています。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響によって減少していたスクール生が回復したことにより、前年度を上回りました。

収入実績は、次のとおりです。

【収入実績】

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	率 (%)
インドアテニスコート	205,788	175,473	30,315	17.3

(7) 広告販売事業

(351,426千円)

交通局から都営交通広告代理店として指定を受け、都営交通広告を中心に、地下鉄車内の中張りポスター、駅構内の電飾ボード・パンフレットラックなどの広告の販売を行っています。令和3年度は、パンフレットラック及び中張りポスターの収入減が大きいものの、廃業代理店の広告媒体を引継いだことにより販売収入の前年度比は増収となりました。

広告販売実績は、次のとおりです。

【広告販売実績】

(単位：千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	率 (%)
①地下鉄	242,822	241,486	1,336	0.6
中張りポスター	2,570	13,346	△10,776	△80.7
まど上ポスター	1,717	1,779	△62	△3.5
駅張りポスター	8,749	7,361	1,388	18.9
駅構内ボード	76,474	53,675	22,799	42.5
駅付近案内図	47,549	47,699	△150	△0.3
パンフレットラック	76,928	93,506	△16,578	△17.7
その他	28,835	24,120	4,715	19.5
②都バス	30,178	22,811	7,367	32.3
まど上ポスター	1,378	1,305	73	5.6
車体ラッピング広告	16,790	19,489	△2,699	△13.8
その他	12,010	2,017	9,993	495.4



(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増減	率(%)
③都電	8,719	4,945	3,774	76.3
まど上ポスター等	8,719	4,945	3,774	76.3
④新交通	18,969	5,246	13,723	261.6
パンフレットラック	2,120	2,206	△86	△3.9
その他	16,849	3,040	13,809	454.2
計(①~④)	300,688	274,488	26,200	9.5
⑤雑収入	50,738	45,182	5,556	12.3
2次手数料	10,486	5,865	4,621	78.8
制作費等	40,252	39,317	935	2.4
合 計	351,426	319,670	31,756	9.9

## (8) 宝くじ販売事業

令和2年12月をもって、宝くじ販売事業を終了しました。

## 【宝くじ売上実績】

(単位:千円)

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減	率(%)
普通くじ	0	66,535	△66,535	△100.0
数字選択	0	92,105	△92,105	△100.0
合 計	0	158,640	△158,640	△100.0

## 3. 共益事業

(事業費 3,530千円)

## 会報発行等事業

(3,530千円)

協力会会員に対して、会報「協力会だより」を発行・送付しました。

### 3. 庶務事項

#### 1 理事会に関する事項

令和3年4月1日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 業務執行理事の選定について
2. 本部長の人事発令について

令和3年6月10日（第1回）（報告の決議があったものとみなされた日：  
報告・決議の省略）

- |           |  |
|-----------|--|
| 第1号議案（審議） | 令和2年度事業報告について                          |
| 第2号議案（審議） | 令和2年度決算及び公益目的支出計画実施報告書について             |
| 第3号議案（報告） | 令和2年度監査報告について                          |
| 第4号議案（報告） | 「協力会事業推進計画2019」（プラン19）の令和3年度における取組について |
| 第5号議案（審議） | 評議員の推薦について                             |
| 第6号議案（審議） | 理事の推薦について                              |
| 第7号議案（審議） | 監事の推薦について                              |
| 第8号議案（審議） | 定時評議員会の招集について                          |

令和3年6月25日（第2回）

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 第1号議案（審議） | 代表理事（会長）の選定について |
| 第2号議案（審議） | 業務執行理事の選定について   |

令和3年10月26日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 第2回評議員会の招集について

令和3年11月26日（第3回）

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 第1号議案（報告） | 令和3年度上期事業報告について |
|-----------|-----------------|

令和4年2月17日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 第3回評議員会の招集について

令和4年3月25日（第4回）

- 第1号議案（審議） 令和4年度事業計画・収支予算案について
- 第2号議案（報告） 「協力会事業推進計画2019」（プラン19）の  
取組状況について
- 第3号議案（審議） 「協力会事業推進計画2022」（プラン22）の  
策定について

令和4年3月29日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 評議員の推薦について
2. 理事の推薦について
3. 本部長の人事発令について

## 2 評議員会に関する事項

令和3年6月25日（第1回）

- 第1号議案（報告） 令和2年度事業報告について
- 第2号議案（審議） 令和2年度決算について
- 第3号議案（報告） 令和2年度公益目的支出計画実施報告書について
- 第4号議案（報告） 決算並びに公益目的支出計画実施報告書に関する  
監査報告について
- 第5号議案（報告） 「協力会事業推進計画2019」（プラン19）の  
令和3年度における取組について
- 第6号議案（審議） 評議員の選任について
- 第7号議案（審議） 理事の選任について
- 第8号議案（審議） 監事の選任について

令和3年11月26日（第2回）

- 第1号議案（報告） 令和3年度上期事業報告について

令和4年3月25日（第3回）

- 第1号議案（報告） 令和4年度事業計画・収支予算について  
第2号議案（報告） 「協力会事業推進計画2019」（プラン19）の  
取組状況について  
第3号議案（報告） 「協力会事業推進計画2022」（プラン22）の  
策定について

令和4年3月31日（決議があったものとみなされた日：決議の省略）

1. 評議員の選任について
2. 理事の選任について

### 3 役員に関する事項

令和3年6月25日	成田 浩	評議員	退 任
令和3年6月25日	小泉 宗孝	評議員	退 任
令和3年6月25日	鈴木 健之	評議員	就 任
令和3年6月25日	野澤 美博	評議員	就 任
令和3年6月25日	押元 洋	理 事	退 任
令和3年6月25日	村岡 教昭	理 事	就 任
令和3年11月10日	根木 義則	評議員	退 任
令和4年3月31日	池上 拓史	理 事	退 任
令和4年4月1日	豊田 義博	評議員	就 任
令和4年4月1日	山崎 孝広	理 事	就 任

## 4. 在籍人員

令和4年3月31日現在

	役員	職 員				合 計
		職員	作業員	月給制 契約職員	時給制 契約職員 その他	
総務本部	人 3	人 24	人	人	人 2	人 29
ステーション本部		470		364	31	865
サービス本部	1	42	4	20	697	764
コマース本部		41			28	69
合 計	4	577	4	384	758	1,727

## 「事業報告の付属明細書」について

令和3年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定されている「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。